



新型コロナワクチン接種 高齢者対象に始まる



新型コロナワクチン接種の市内での予約や接種状況について、5月21日に開かれた市議会全員協議会で報告されました。

22日の週末までに 75歳以上550人接種済み 医療関係者2回目接種完了

小矢部市では75歳以上の高齢者を対象に、5月15日から鷲島の農村環境改善センターで、水・土・日曜日にワクチンの集団接種をはじめました。1回目のワクチン接種を受けた人は550人です（65歳以上接種率5.2%余）。

高齢者施設入所者（特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護医療院等）については4月26日から接種をはじめました。

医療関係者の接種状況について市の報告によれば、4月下旬から1回目を始め、5月22日（土）までの週に2回目接種が完了したそうです。



2回目接種で発熱、だるさも 「接種後、行動予定を 入れない方がよい」

ワクチン接種を受けた方の感想によれば、1回目のワクチン接種後は体調に変化はなかったそうですが、2回目は半日後くらいに発熱、だるさなどの症状がでて、一日寝込んだ人、仕事を休んだ人もいたそうです。この症状は1日で回復しました。2回目接種の翌日は行動予定を入れない方がよいとのアドバイスもありました。

ワクチン接種の予約受付状況 75歳以上で79%予約完了

ワクチン接種の予約受付状況は5月19日現在、75歳以上の高齢者約5400人に対して、79%の4273人が予約完了で、そのうち一番遅い1回目の予約接種日は7月4日だそうです。



読者通信 改題
2021.5.30
通巻No.1515
日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



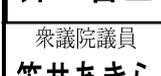
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら
禁無断転載
複写配布

70歳以上約2900人の予約受付は5月25日から（予約のためのクーポン券等の発送は24日）、65歳以上約2200人は5月29日（クーポン券発送28日）から受け付けます。

受付電話5回線から 7回線に増

「それでもつながりにくい」

受付の混乱状況については4月下旬頃には電話がたいへん混雑したそう、電話受付回線を5回線から7回線に増やしました。それでも何回も電話してつながらなかったとの苦情もあります。

市民からの要望

「受付相談窓口で予約の 手伝いをしてほしい」

比較的インターネットではつながりやすいようですが、それができない高齢者も多く、混乱しています。市も総合保健福祉センターロビーに相談窓口を設置していますが、予約の方法を教えるだけです。代わって予約受付のお手伝いもできるようにすることが望まれます。全国的には相談窓口での、インターネット予約支援をはじめていきます。埼玉県深谷市では身近な公民館で、職員が代理で予約入力を行っています。

桜井市長 「医療機関での 個別接種も要請中」

桜井市長は医療機関での個別接種についても医師会を通じて要請しており、協力を得られる見込みであると述べました。

砂田市議

菅政権の現場無視を批判 ワクチン接種とともに PCR検査の徹底も

市議会全員協議会では、予約や接種の混乱状況について議論が沸騰しました。市は当初予定していた65歳以上高齢者の接種計画を、国から急ぎよ、7月末まで完了するよう強く要請されたので、たいへん混乱していることを認めました。

砂田市議は「菅政権が現場の様子も把握しないまま突然7月末まで高齢者の接種を終えると発表したもどで起きている混乱だ」と指摘しました。同時に、「ワクチン接種を待っている間にもPCR検査を徹底し、無症状感染者をいち早く発見、保護することが欠かせない。県西部のある公立学校で陽性者が出たにもかかわらず学校全体のPCR検査をやるうとしない国や県の責任」をきびしく批判し、改善を求めました。

自動車運転免許更新

「75歳以上の認知症検査予約が つながらない」

75歳以上から認知症の検査を受けねばなりません。その予約電話が「1週間以上かけているがつながらない」との相談が砂田市議に寄せられました。電話での受付しかなかく、受付時間も午前10時から午後4時までで、昼食時間を除くことになっています。

受付電話回線増と インターネット予約受付を

砂田市議が県警と市に要請

日本共産党富山県委員会が5月19日、20日に富山県各課と予算交渉をした際、砂田市議は県警に次の3点を要請しました。

①受付電話回線を増やすこと、②受付時間を夜まで延長すること、③インターネット予約も取り入れることです。後日、県警から共産党県議団に「検討している」と返事がありました。

21日の市議会全員協議会でも砂田市議は、県警にこの3点を要請してきたことを述べるとともに、「これから75歳以上の運転免許更新者が増え続けるだろうから、小矢部市としてもこの改善を申し入れて欲しい。」と要請しました。民生部長は「小矢部署とも相談して、どのようなやり方で要請するか検討させて欲しい」と答えました。

